

第一次佐久市総合計画後期基本計画(案)の新旧対称表

【序論】

頁	行	新	旧	
2	左下9	本格的な人口減少・少子高齢社会を迎えています。	本格的な人口減少・少子高齢社会を迎えようとしています。	適切な表現に修正
5	右下8、右下6	耕作放棄地が増加しており、	(農地の)荒廃化が進んでおり、	適切な表現に修正

【基本計画】

頁	章	節	項目		新	旧	
12	1	1	男女共同参画社会	目標	審議会などにおける女性委員の登用率(%) 現状値 18.1[H22]	審議会などにおける女性委員の登用率(%) 現状値 18.5[H23]	現状値の修正
16	1	2	学校教育	後期	(4)学校給食の充実 1つ目の○ …学校給食のさらなる充実について検討を進めるとともに、衛生管理基準に沿った学校給食の計画的な整備…	…学校給食のさらなる充実について検討を進めるとともに、学校給食の計画的な整備…	表記の追加
20	2	1	高速交通ネットワーク	目標	長野新幹線の延伸 現状値 未開業[H22] 目標値 開業	北陸新幹線の開通 現状値 未開通[H22] 目標値 開通	表記の修正
21	2	1	地域交通ネットワーク	目標	幹線道路整備延長(m) 現状値 4,731 目標値 8,231	幹線道路整備延長(m) 現状値 5,531 目標値 8,831	現状値・目標値の修正
21	2	1	地域交通ネットワーク	目標	公共交通延べ利用者数(人/年) 現状値 113,538	公共交通延べ利用者数(人/年) 現状値 103,390	現状値の修正
22	2	2	土地利用	後期	(3)土地需要の調整と適正な土地利用の誘導 2つ目の○ 耕作放棄地	遊休荒廃農地	適切な表現に修正
24	2	2	住宅・宅地	後期	(2)公営住宅の整備と管理 1つ目の○ 公営住宅のあり方や、民間との役割を明確にし、役割分担に応じた必要な整備を図ります。	良好な住環境を維持するため、公営住宅の改築・建て替えを必要に応じて計画的に進めます。	民間との役割分担を明確に表記
25	2	3	高度情報通信ネットワーク	目標	電子申請の件数(件) 現状値 289	電子申請の件数(件) 現状値 36	現状値の修正
31	3	4	工業	前期	○首都圏を中心とした企業訪問を行うため、産業立地推進員を配置し、各企業の立地状況等の情報収集と市内工業団地の紹介や優遇制度の説明を行い、企業誘致を推進しています。		追加
32	3	5	就労・雇用	目標	就職相談会参加者数(人/年) 目標値 130 インターンシップ実施学生数(人/年) 目標値 15	就職相談会参加者数(人/年) 目標値 120 インターンシップ実施学生数(人/年) 目標値 10	目標値の修正
35	4	1	障がい者福祉	チャレンジ	障がい児・者及び家族に対するライフステージに応じた一貫した相談支援体制の充実を目指します。		追加
36	4	1	低所得者福祉	現状課題	3つ目の○ 経済状況の低迷などにより、生活保護世帯の一層の増加が懸念されており、自立に向けた支援の強化と法律に基づく適正な制度運用を行う必要があります。	経済状況の低迷などにより、保護世帯の一層の増加が懸念されています。	追加
37	4	2	健康増進	後期	(2)健康づくり活動の推進 5つ目の○ …森林セラピー基地「平尾の森」と有機的に連携するなど、…	…森林セラピー基地と有機的に連携するなど、…	表記の追加
39	4	2	医療	前期	○浅間総合病院は、病院改革プランに基づき、平成22年度から地方公営企業法の全部適用を行い、経営責任の明確化や職員の経営参画意識、コスト意識改革を図るなかで病院財政の健全化を図りました。		追加
41	4	3	子育て支援・児童福祉	目標	つどいの広場の利用者数(人) 現状値 15,099 目標値 15,800	つどいの広場の利用者数(人) 現状値 12,927 目標値 13,500	現状値・目標値の修正
42	4	3	母子保健	前期	○浅間総合病院は、不妊治療を受ける夫婦が年々増加の傾向にあることから、不妊治療に対する経済的負担の軽減と治療の受けやすい環境整備のため、県内10番目となる不妊治療費助成事業指定医療機関として県から指定を受けました。		追加

頁	章	節	項目		新	旧	
43	5	1	環境保全	チャレンジ	市内の自然エネルギーを用いた電力自給率、3%を目指します。	家庭用太陽光発電システムの設置総容量を10,000Kwにします。	チャレンジの修正
45	5	2	環境衛生	後期	(1)廃棄物処理対策の推進 4つ目の○平成29年度に新クリーンセンターの稼働を目指し、早期の地元合意形成を図りつつ、整備を推進します。	早期の地元合意形成を図りつつ、新クリーンセンターの整備を推進します。	記述の修正
46	5	2	上水道	目標	有収率(%) 現状値 84.0 目標値 90.0 水源余裕率(%) 現状値 16.2 目標値 22.0	上水道普及率(%) 現状値 99.7 目標値 99.7	目標の修正
46	5	2	上水道	チャレンジ	水を自然流化方式で配ることができる地形を生かしながら、太陽光発電を導入するなどにより、環境に配慮した水道を構築します。		追加
47	5	2	下水道	目標	下水道整備面積(ha) 現状値 2.931 目標値 3.032	下水道整備面積(ha) 現状値 2.925 目標値 3.026	現状値・目標値の修正
49	6	1	消防・救急	現状課題	事故や救急傷病者が発生した場合、現場に居合わせた人による応急手当が重要であることから、AEDの普及・設置と、使用方法を含めた救急蘇生法の講習会の実施などの充実を図る必要があります。		追加
49	6	1	消防・救急	後期	(1)広域消防・救急体制の強化 ○市有施設などへのAEDの設置を推進するとともに、設置場所の周知と使用方法を含めた救急蘇生法の普及を図ります。		追加
52	6	2	協働のまちづくり	目標		公文書開示請求件数(件/年)	目標値の一部削除
53	6	2	コミュニティの育成	目標	区への加入率(%) 現状値87.57[H22] 目標値90.00		追加
55	6	2	行財政	後期	(2)効率的な財政運営 ○遊休地の売却や広告事業などにより、新たな自主財源の確保に努めます。		追加

【全般的事項】

頁	章	節	項目		新	旧
					「障害」の表記については、施設名や既にある計画名等はそのままで表し、一般的なものは、「障がい」で統一する。	

(前回総合計画審議会での意見に対する検討結果)

【序論】

頁	行	指摘事項	検討結果
5	右上11	風土はつくるものではないので、「風土づくり」という表現は不適切である。	ご指摘の一面もありますが、風土には、歴史や文化など、人々が築きあげるものも含めた、その土地の総括的な環境という意味もあるため、風土づくりと表現しても支障ないと考えます。

【基本計画】

頁	章	節	項目		指摘事項	検討結果
15	1	2	学校教育	後期	(4)学校給食の充実 食育の基本は学校教育であるため、佐久城山小学校の給食など、もっと食育を強く表記した方が良いのではないかと。	(4)学校給食の充実の4つ目の○に、佐久城山小学校の給食も含めた学校給食全般について、「地産地消」及び「食育」を推進する、とあります。また、第4章・第2節・健康増進の「後期の主な取り組み」に、(3)食育の推進が謳われています。同様に、前期計画でも表記していますので、「食育」に関する施策については、現在においても、積極的に実施されているところです。